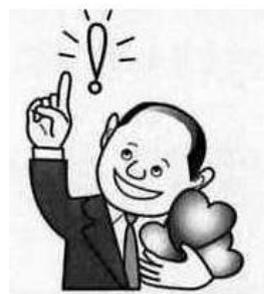




# 富士見市議会議員 関野かねたろうの 活動報告



平成 20 年春号 No.31

ごあいさつ

副議長としての1年、無事に終わることができました。ありがとうございます。

平成19年3月議会で副議長に就任させていただいて1年がたちました。このたび3月議会をもって副議長の職を解かせていただきました。この間、議会事務局をはじめとする多くの議会関係者、暖かく見守っていただいた多くの市民の皆様のおかげで無事に責務を果たすことができました。心より感謝申し上げます。

この1年副議長としての職務はもとより、議長代理として多くの団体の会合に出席させていただきました。その際に多くの市民の方々と接し、お話をさせていただきました。そのことは私の議会活動にとって大きな財産となりました。今後はその財産を礎に、さらなる議員活動に努めてまいります。

**タンジブル(tsngible:触れることができる、触れてわかる、)な議員活動を目指します！**

地元で日頃ご指導をいただいている方から、「タンジブル」という言葉をいただきました。この言葉の意味は表記した通りですが、具体的な地域への貢献としての私の活動のおほめの言葉としていただきました。私の議員活動の新たな信条・目標のひとつとしてまいりたいと思っています。

今後もこの言葉の意味を大切にして、抽象的なもの言いではなく、市民の皆様にわかりやすい具体的な成果や結果を提示していく活動として結実させてまいります。

**締めくくりの1年から富士見市の将来を見据えた新たな誓い！**

議員任期も余すところ1年となりました。7年間の議員活動で培った経験、副議長としての1年間の経験を、任期締めくくりの1年間に活かし、誠心誠意活動してまいります。

ほぼ21世紀の夜明けとともに、皆様のお力添えを頂いて議員活動を始めさせていただきました。この間、多くの課題に取り組んでまいりました。

何よりも誰もが安全で快適に暮らせるまちづくり、地域づくりは最優先課題として参りました。加えて、歴史を育んでこられた先輩の方々、次代を担っていく子供たちへの施策も様々な提案をしてまいりました。

これからも継続して、多くの皆様に「住んでよかった富士見」を実感していただけるよう日々努力を重ね活動して参りますので、変わらぬご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

## 3月議会報告：主な議案や質疑について

### 20年度予算を審議し、財政運営の説明責任を指摘し賛成しました

3月議会は予算議会とも言われ、一般会計をはじめとし、国民健康保険などの特別会計、水道などの企業会計等、提案された28議案のうちの9本の予算審議に多くの時間が費やされました。

一般会計は対前年比8.7%増の約266億円で編成されました。増額分はつるせ台小学校建設によるもので、それを除くとマイナス予算とも言え、富士見市の厳しい財政状況を反映した予算編成となっています。これまで一律に減額率を決める枠配分方式による予算編成を続けてきましたが、それもすでに限界にきており、今後は施策展開の優先順位による予算編成をしていく必要があります。

私は、そのためには予算編成についての市民説明会を実施し、市当局の政策展開の方針について直接市民の皆さんと話し合う機会の必要性を訴えてきました。そのことによって政策実現や市民要望実現などの進み方について、理解を頂けると考えています。メリハリをもった集中的な予算投下によって、特色ある政策が展開できるのではないのでしょうか。新年度においてこういった考え方の一部が、**出前講座**として実現しました。行政の説明責任を果たしていく一歩として評価をしています。今後は私たち議会もその活動を出前講座として市民の皆さんに示していくべきであると考えます。

「入るを量りて、出ざるを為す」という言葉があります。富士見市の財政においても、歳入の増額のための政策も緊急課題であります。納税率を高めることはもちろんですが、まちづくりなどによる地域活性化によっても可能であると思います。その大きなチャンスであった、市役所前の**山室・勝瀬開発**は地権者の合意が得られず断念されました。市当局は議会で、富士見市への財政効果や雇用効果への期待について再三答弁をしていたことを考えると今後の富士見市への影響は少なからずあるものと思えます。

一方で4月から開始された、後期高齢者医療制度に関する議案も審議されました。その後政府が高齢者からの多くの反発への配慮から「長寿医療制度」なる別称をつけたりと、今後の制度運営について異論が多くありました。この件は請願も提出されました。富士見市議会としても高齢者の方々が安心して医療が受けられるよう請願を採択しました。

(採択された請願の項を参照してください)

### コンピューターシステム移行が先送りされた問題について：先進的にシステム移行を提案してきた立場より・・・

富士見市は、いわゆる大型汎用コンピューターによって業務運営をしてきました。これには機械そのものの費用が膨大になることと、そのメーカー独自のシステムで運営されるため、業務の変更によるソフト変換には専門の技術者が必要となり、そのために多くの人件費がかかるなど、日々の運用に多くのコストが必要とされてきました。そのため、私は大型コンピューターから、私たちが普段使用しているコンピューターに近いシステムへの移行については行財政改革の観点からも必然です。また時代の流れでもあります。

私はそのような現実を踏まえ再三にわたってコンピューターシステムの移行を提案してきました。その結果、昨年からのシステム移行作業が進められ、本来ならば今年の1月より新システムでの作業が行われる予定でした、しかしながら選択した業者の力不足、市内部の調整不足などで予定した期限での以降が不可能になりました。そのために約1.5億円の費用が余分に支出されることが明らかになりました。この費用負担について多くの議論がされました。移行を遅延させた責任を業者として、費用を市が負担すべきでないとの根、市民ネット、共産党が予算に反対の根拠としました。私は、業者に責任はあるものの、現実にリースをいったん打ち切ることとした大型汎用コンピューターメーカーに、再度リースをお願いする以上、市がそのために費用を支払っていくのは、商道徳上やむを得ないことと考えます。市民の皆様に影響の無いように、日常業務遂行を優先しながら業者に損害賠償交渉を進めるべきではないでしょうか。

今後は早急にシステム移行作業を進め、一刻も早く移行実現を図ることが課せられた責務と考えます。また、その作業の進行状況を議会や市民に明らかにしていくことも執行部の大きな責任であると思います。

\* 主なテーマについて私なりの主張を書き綴りました。なお、市長より提案された議案はすべて可決・認定されました。詳細にわたっては市の広報や私のホームページをご覧ください。

～採択された請願や陳情：私も賛成しました！～

・ 後期高齢者医療制度の実施に当たって財政支援等を求める意見書提出に関する請願

実施に当たって多くの問題点について指摘されている。このことを踏まえて、保険料の軽減措置を講じたり、被保険者資格証明書の発行を慎重に行うなどの対策がされるよう埼玉県に意見書を提出してほしいというものです。

私は、この制度が保険制度の一元化への過渡的な制度であるという点は評価されるものの、高齢者の皆様への配慮や負担を考えたとき、保険者である県、制度実施責任者である国の支援の必要性を思い賛成しました。

・ 東武東上線の人道橋の存続を求める陳情：同様の陳情が別の方からも出されました

東武東上線のみずほ台駅と柳瀬川駅間にある人道橋の存続について、住民意見の反映と東武鉄道との協議を求める陳情です。

人道橋の老朽化の進行とともに、安全面から東武鉄道より廃止の提案がなされました。富士見市が建設と管理をすることが存続の条件とされているのですが、利用者の数と1億円前後の建設費を考えたとき費用対効果からは困難も考えられますが、かつて一体であったこの地域が鉄道によって分断されたという歴史を考えたとき、東武にも相応の負担をしていく事を前提として存続について賛成しました。

## 市民の皆さんの声を市政に活かします！

### 入院費の小学校卒業まで拡大された公費負担と小児救急医療充実について

3月議会で、小学校卒業まで入院費が公費負担になる条例改正が可決しました。私はこの条例改正に実行力を持たせるためには、小児救急医療の充実があつてこそであると考えます。昨今の救急患者の「たらいまわし」の例にみられるように、救急病院の充実、とりわけ、小児救急医療体制を整えることは緊急の課題です。そのためには現実的に多くの市民が利用している志木市民病院との確固たる安定した連携：受け入れへの保証の確約が必要と考えます。私は志木市民病院にお邪魔し、多くの富士見市民が利用している実態を、示された数値により改めて目の当たりにしました。保健医療圏が異なっているために多くの課題が存在しますが、小児ばかりでなく、地域の高齢化を考えたときにも、受け入れ確実な救急医療施設を確保することは重要な課題であると考えます。私の重要課題として継続して取り組んでまいります。

### 水谷東2丁目での交通安全対策：道路にペイントや立て看板を設置を実現しました

住宅内の信号のない第三富士見自治会内交差点で先日重症人身事故が発生してしまいました。バス通りからの抜け道として、比較的通行車両が多い交差点でした。当事者双方が市外の住民であることから注意を喚起する必要性を感じました。そこで市当局に、注意を喚起するための方策を市に要請しました。その結果、立て看板の設置や道路へのペイントが実現しました。これからも、市外ばかりでなく地域の住民の方々にとっても安全な道路実現に努力してまいります。

## お知らせ

- Web site(ホームページ)にも詳しく活動内容を掲載しています。ぜひご覧下さい！  
URL は<http://www.k-sekino.com>です。(検索エンジンで「関野かねたろう」でも可能です)
  - 自宅(セキノ酒店)隣に「市民相談所」を開設しました。  
ご要望やご意見、どんなことでもお気軽にご利用ください。  
例えば、地域の安心安全に関すること、地域環境整備に関すること何でも気軽にご相談してください。すぐできないものや多額の予算を必要とするものは継続して取り組んでまいります。
  - 富士見市議会議員としての所属  
会派:21・未来クラブ  
常任委員会:総務常任委員会 副委員長  
一部事務組合:入間東部消防組合議会
  - その他  
富士見市商工会理事
- ★発行責任者:富士見市市議会議員 関野かねたろう  
富士見市水谷東 1-2-10 TEL049-255-0506 Fax049-255-0549